

# 2019 年度／令和元年度 事業報告

2019 年／平成 31 年 4 月 1 日～2020 年／令和 2 年 3 月 31 日

# 2020 年度／令和 2 年度 事業計画

2020 年／令和 2 年 4 月 1 日～2021 年／令和 3 年 3 月 31 日

2020 年／令和 2 年 4 月 1 日

学校法人田名橋学園

和田幼稚園

# 目次 2019 年度／令和元年度 和田幼稚園 事業報告

## 第 1 節 法人・幼稚園概要

## 第 2 節 幼稚園行事(事業)の大要実施報告

学事報告

健康管理事業報告

子育て支援事業報告

## 第 3 節 学校評価

## 第 4 節 教育環境設備の充実

添付資料:保護者アンケート

## 2019 年度／令和元年度 和田幼稚園 事業報告

### 第 1 節 法人・幼稚園概要

設置者	学校法人 田名橋学園
学校名	認定こども園 和田幼稚園
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田 910-468
法人代表者	理事長 池田 敏明
学校長氏名	園長 田名橋 真敏
役員等	理事 6 名、評議員 13 名、監事 2 名 理事会・評議員会
定員・実員学籍	定員 150 名(1 号 105 名 2 号 20 名 3 号 30 名) 実員 1 号 80 名 2 号 37 名 3 号 23 名 満3歳児 5 名 計 140 名
職員構成	令和元年度 幼稚園 園長 1 名、事務長 1 名、保育教諭 6 名、保育補助 2 名、 バス運転手 1 名(産休 1 名)  保育園 園長 1 名、保育教諭 6 名、保育補助 3 名(超過保育兼務 1 名)  ※調理師 2 名・調理師補助 2 名(超過保育兼務含む)、栄養士 1 名、 看護師 1 名  計 28 名
建学の精神	「あかるく たくましく かんがえる人間性豊かな子どもをめざす」 子どもたちの根っこを育て、豊かな人格形成(気づき、考えて、行動する)、 「生きる力」を養っていく。

## 第2節 幼稚園行事(事業)の大要実施報告

04/01	幼稚園保育園入園式	07/08	そうめん流し	01/08	3学期始業式
04/02	特別預かり保育(~5日)	07/18	防犯教室	01/09	餅つき
04/08	幼稚園始業式	07/20	1学期終業式	02/01	節分集会
04/15	幼稚園通常保育開始	07/22	特別預かり保育(~7/31)		新入園児説明会
04/18	防災集会	07/27	保育料無償化説明会	02/03	縄跳び月間
04/20	親子遠足	08/06	すいか割り	02/20	保育参観(夏・秋・冬)
04/25	食育	08/10	個人面談	02/26	交通安全集会
04/26	こいのぼり集会	08/19	特別預かり保育(~30日)	03/20	卒園式
05/10	内科検診		ユニクロサッカー(年長)	03/24	3学期終業式
05/26	評議会・理事会	09/02	2学期始業式	03/25	特別預かり保育(~31日)
05/28	健康集会	10/6	ハートフルフェスタ(年長)	03/28	辞令交付・職員研修
05/29	園外保育(年長)	10/19	運動会		
05/31	さつまいも植え	11/02	作品展		
06/04	歯の衛生集会	11/12	さつまいも収穫		
06/07	歯科検診	11/15	内科検診		
06/10	時の記念日集会	12/21	発表会		
06/20	保育参観(夏・秋・冬)	12/24	2学期終業式		
06/25	防災教室	12/25	特別預かり保育(~27日)		
07/01	水遊び開始	01/06	特別預かり保育(~7日)		
07/05	七夕集会				
筆あそび(年長) 運動あそび(年中・年長) 創作ダンス(年少・年中・年長) 英語あそび(年少・年中・年長) そろばんあそび(年中・年長) (お話会 年間3回)					
毎月1回 園内研修(職員参加) 食育会議(学期毎)					
保護者アンケート実施(3月)					

幼稚園説明会(在園児)(※新型コロナウイルスの拡大防止のため中止)

### ●学事報告

1歳児 11名 2歳児 12名 満3歳児 5名  
 3歳児 36名 4歳児 40名 5歳児 36名 合計 140名  
 (うち1号認定 80人 2号認定 37人 3号認定 23人)  
 篠栗町在籍 129名  
 粕屋町在籍 4名  
 久山町在籍 5名  
 その他在籍 (福津市1名、北九州市1名)  
 (通園バス利用園児 15名)

2019年度 就学予定		
市町村	就学小学校	
篠栗町	北勢門小学校	17名
	勢門小学校	12名
	篠栗小学校	4名
粕屋町	大川小学校	1名
博多区	東光小学校	1名
筑紫野市	山口小学校	1名
		36名

## ●子育て支援事業報告

### ① 預かり保育

17時30分まで園児を預かり異年齢児による活動を実施した。また、7月及び8月夏季長期休暇中(夏休み)に18日間、冬季長期休暇中(冬休み)に5日間、春季長期休暇中(春休み)に9日間、8時から17時30分まで預かり保育を実施した。

通常預かり保育 平成31年4月～令和2年3月		冬季長期休暇中(冬休み)	
預かり保育日数	203日	預かり保育日数	5日
預かり保育延べ利用園児	5146人	預かり保育延べ利用園児	49人
一日平均園児数	25人	一日平均園児数	10人
夏季長期休暇中(夏休み)		春季長期休暇中(春休み)	
預かり保育日数	18日	預かり保育日数	9日
預かり保育延べ利用園児	215人	預かり保育延べ利用園児	113人
一日平均園児数	12人	一日平均園児数	13人

### ② 課外授業

課外教室を展開し「子育て支援」として位置付ける。幼稚園生活と課外教室の連携を図る。

ピアノ教室(月14名、木4名)・バレエ教室(10名)・そろばん教室(7名)・体操教室(年中25名、年長24名)を実施した。

## ●健康管理事業(園児・職員)

令和元年度中に下記の健康管理を実施した。

- ① 年間を通じて毎月、身長、体重の測定。
- ② 学校保健法により健康診断を実施。内科検診5月10日・11月15日、歯科検診6月7日実施。
- ③ 予防接種歴・罹患歴調査票で園児の情報を保護者と共有
- ④ 全職員健康診断を義務付け、実施している



### 第3節 学校評価

本年度の重点目標	「よく学び よく遊び よく関わる」 子どもたちが自分で考え、工夫し、学んでいく環境づくり(人的環境、保育環境)(時間、空間、人間) 人的環境、保育環境の外的環境の見直し、年間指導計画等の内的環境の見直しと積み重ね
経営の重点	職員が働きがいのある職場づくり(カリキュラムマネジメントによるPDCA) 保育の質の向上(指導力、子ども理解の向上、マネジメント力、リーダーシップ力) 保護者が子ども理解、幼稚園への理解を深めていく(HP等による情報提供、子育て支援(講演)等)
教育の重点	年間指導計画、週案の作成(新幼稚園教育要領、新保育所保育指針参照) 教育要領に沿った「遊び」の時間 特別支援教育

#### 評価項目

項目	内容(取り組み)	評価	理由
1. 学園の将来ビジョン	本園の目指す方向を確認しながら保育を進めていく。各学年のリーダーを中心に、指導計画や記録の作成に際して、常に本園の保育の原点(あかるく、たくましく、かながえる)を確認し合う。  (具体的な目標や取組) ●和田幼稚園 幼稚園経営要綱の作成 ●年度初に全職員での研修を行い、園の理念の確認を実施 ●「環境」について研修 ●HP で園の特色・ビジョンを説明(入園予定・在園児)	C	年度初の研修で「主体性」をテーマに研修をするが、各職員に心に響く部分は少なかったように感じる。外発的な関わりではなく、保育者が自ら関わり、思考錯誤しながら、学んでいく必要性を感じる。令和2年度は主任(2人)を置き、保育者同士の話す機会をつくりながら、保育の本質について考える。
2. 教育課程・指導	・年間指導計画の作成(「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の各領域において、「ねらいと内容」を踏まえた活動を行う) ・子どもの発達段階、子どもの理解を踏まえて、年間指導計画、カリキュラムを作成する ・10の姿を意識した指導要録、保育計画を作成 ・防災意識を高める保育 ・食育を高める ・遊びの時間を確保する  (具体的な目標や取組) ●年間指導計画、月間指導計画をもとに、週日案をたてる ●週日案の充実(環境構成、保育者の援助、振り返り) ●10の姿を意識した指導要録 ●食育会議を学期ごとに実施し、調理師・保育士・栄養士と連携していく ●朝の会(全体)を週1回にし、遊びの時間を保障する ●環境を通した教育、遊びを通した教育(講師研修・園内研修)	C	子どもの声を大切にしながら(子どもの主体性)、教育保育要領の理解、10の姿について考える機会をもち、保育者同士学び合うことが必要。日々の保育を振り返りながら、子どもの育ちを多角的にとらえる視点をもつことが必要である。令和2年度は、さらに環境を通した教育、遊びを通した教育、「遊び」とは、学びを深めていく。
3. 保健管理	・感染症については、保護者に情報展開し、疾病予防や拡大防止に努める  (具体的な目標や取組) ●携帯アプリで、本日の感染症情報を確認できるようにする ●意見書と登園届(保護者記入)を作成する ●内科検診の年2回(5月・11月)実施 ●健康集会で、手洗い・うがいについて啓発を行う	A	保護者に感染症の状況をアプリを通して情報展開し、感染症について協力し予防に努める。内科検診を2回実施し、子どもたちの成長を嘱託医の先生とともに確認することで、保育者、保護者とともに定期的に連携をとることができた。

<p>4. 安全管理</p>	<p>・安全点検を管理者と職員で実施</p> <p>・避難訓練を定期的実施し、職員・園児の防災意識を高める</p> <p>・危機管理マニュアルの作成し、職員と共有する</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●危機管理マニュアル作成 事故時の対応</li> <li>●事故報告書の作成</li> <li>●避難訓練実施計画</li> <li>●防災教室・防犯教室・交通安全教室</li> <li>●安全点検(園外・園内)を実施</li> <li>●避難靴(外靴)を用意し、テラスからの避難時に使用する</li> </ul>	<p>B</p>	<p>危機管理マニュアルを作成し、職員に通知する。また、事故時の対応においては、「幼稚園で起こった事故については幼稚園で責任をもつ」ことを確認し合う。ヒヤリハット事例がある場合は、職員で共有し合い、再発防止に努めている。令和2年度は、ヒヤリハット委員会を立ち上げ、職員間で協力しながら、安全安心を計っていく。避難訓練についても、職員が中心になって、防災について子どもたちと学んでいく機会を作っていく必要がある。</p>
<p>5. 特別支援教育</p>	<p>特別支援教育への理解と実践</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援コーディネーターを指名する</li> <li>●篠栗町の巡回相談・粕屋町巡回相談</li> <li>●専門リーダー(障害児教育)による園内研修</li> </ul>	<p>B</p>	<p>幼稚園での特別支援の研修やキャリアアップ研修での積み上げにより、徐々に特別支援の理解と実践が進んでいる。特別支援への理解と実践を進めていく必要がある。同時に、保護者による理解を進めていく必要がある。保護者に向けての研修を2020年度は実施する。</p>
<p>6. 組織運営</p>	<p>園の組織運営の機能化(園務分掌によりマネジメント力を高める)</p> <p>職員間の情報共有の円滑化</p> <p>職員が主体的に保育実践できる環境づくり</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●職員会議月1回</li> <li>●3号認定の年齢を1歳6ヶ月から1歳に変更</li> <li>●満3歳児クラスの開設</li> </ul>	<p>C</p>	<p>職員会議を月1回実施するが、連絡事項や行事の運営についての会議に偏り、保育実践や子ども理解の園内研修の充実が今後の課題になる。2020年度は、主任保育士、主幹教諭を配置し、保育の質向上、人材育成を重点的に実施していく。</p>
<p>7. 人材育成 研修・研究</p>	<p>研修等に積極的に参加し、自己研鑽し保育の質を上げる</p> <p>園内研修を通して、情報共有・子どもの様子・環境構成を考えていく</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリアアップ研修</li> <li>●専門リーダーを置き、園内研修を担当してもらう</li> <li>●園内研修の充実</li> </ul>	<p>B</p>	<p>キャリアアップ研修(前期・後期9名参加)。園内研修において、キャリアアップ研修内容をレポート、報告し、職員間で情報を共有する。次年度は教育保育要領の理解を深める研究会、保育実践を通して公開保育(園内)を実施し、保育の質向上を計っていく。</p>
<p>8. 教育目標 学校評価</p>	<p>保護者の意見・要望</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●行事後にアンケート実施</li> <li>●学校評価・自己評価(3月)</li> <li>●教育目標の見直し</li> </ul>	<p>B</p>	<p>行事後に保護者アンケート、年度末に保護者アンケートを実施する。子どもの育ちを感じる、保護者との連携、各項目で前年度と比較すると、保護者からの評価が上がっている。職員と保護者との日頃からの信頼関係によるところが大きい。次年度は日々の子どもの姿、成長がよりよく保護者に伝わり、子どもの成長を保護者とともに分かち合うように努める。また、自己評価(職員)を行い、保育について見つめ直しを行う。教育保育要領の理解、保育の本質の理解を中長期的に園内研修を通して行っていく。</p>

9. 情報提供	<p>情報発信(バスキャッチにより、欠席出席連絡等で、保護者からの連絡を一斉管理)</p> <p>ホームページ、連絡メールにて情報発信を行う</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●携帯アプリでの保護者への連絡(行事、緊急)</li> <li>●一ヶ月に一度担任からクラス日より</li> <li>●ホームページで行事の子どもたちの姿を発信</li> </ul>	B	<p>バスキャッチにより、保護者からの出欠連絡事項の確認、職員同士の保育の振り返り(毎日の評価)を共有する。写真を用いて、クラスだよりで子どもの様子を伝え、ホームページを使い、保護者や入園希望の方にも幼稚園を理解することにもつながっている。次年度、子どもの育ちを主任を通して、保護者に伝える機会を増やす。</p>
10. 保護者・地域との連携	<p>園の行事等へ多くの保護者の皆様の参画を計画。保護者、保育者が共に協力し合って園児の健やかな成長を保障する</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の方と一緒に昔遊びをする</li> <li>●園の行事等への保護者参加(保育参観、運動会、発表会、(お別れ会、卒園式(年長児))</li> <li>●地域の方との交流する場をもつ(敬老会、和田区民祭など)</li> </ul>	C	<p>地域の方と一緒に昔遊びをする機会をもち、保護者に園の行事等への参加(保育参観、運動会、発表会、卒園式(年長児))を行う。新型コロナウイルスにより、お別れ遠足やお別れ会を実施することができなかった。</p> <p>次年度は、地域の方との交流する場をもつ(敬老会、和田区民祭など)</p>
11. 子育て支援	<p>子育てについての講話を計画</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子育ての講話(8月末)</li> <li>●個人面談等による保護者とのコミュニケーション</li> </ul>	C	<p>NPO 法人 子どもメディア 事務局長 黒田加奈子先生をお迎えして早寝早起き朝ごはんの話や親子でしっかりと関わり合える大切さ等、子どもたちの取り巻く社会環境や子育てについて話をいただきました。園にも来ていただいているお話会の一柳先生による子どもと絵本についての話。年齢に応じた絵本の話や子育ての話など。今だからこそ、絵本の力について話をいただきました。</p>
12. 預かり保育	<p>保育園児・幼稚園児の人数の増加に伴う預り保育環境の見直し</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長期間中の預かり保育の保育環境の見直し(長期間中保育園児・超過保育園児を遊戯室でともに保育する(2018年度))</li> <li>●幼稚園園舎で保育園児・超過保育園児を分けて保育環境を整える</li> </ul>	B	<p>保育園児と幼稚園児を分けることで、子どもたちにとって十分な空間を確保することができた。預かり保育担当の先生との連携、保育園児の年長児の昼寝等の課題に取り組んでいく。</p> <p>次年度は4・5歳児棟(保育園児・超過保育児)、1・2・3歳児棟(3歳児)という環境にし、個や集団に合わせて保育をする。ビデオ鑑賞等を中止し、教育・保育活動ができるように保育していく。</p>
13. 教育環境整備	<p>保育室の環境や園外環境を見直す</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●園児が集中できる環境を(年少)(すりガラス等)</li> <li>●園庭のデザイン(子どもたちがチャレンジする園庭、四季を感じる、遊びが広がる)</li> </ul>	C	<p>次年度、保育室の環境や園外環境を見直す。保育室を人/1.98㎡とり、子どもの動線を考慮しながら、保育室の環境づくりができるようにしていく。園庭についても、職員と考えながら、子どもの環境を整えていく。</p>
14. 小学校との	<p>教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながるようにする</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校との交流会</li> </ul>	C	<p>幼小の接続について、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有する。幼児期の育ちを小学校にしっかり伝えることが大切になっている。指導要録を小学校に送付したり、小学校と連携を深めていく手立てを考えていきたい。</p>



15. 無償化対策	<p>10月からの保育料無償化に向けて、保護者への説明を行う</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●7月中旬に職員に説明</li> <li>●7月末に在園児に向けて無償化の説明会を実施</li> <li>●給食費の金額、新2号認定の説明等</li> <li>●新入園児に向けて無償化の説明会を実施</li> <li>●認定こども園運営規定の改正</li> </ul>	B	<p>7月中旬から園の職員、保護者に順に説明を行う。国の政策のため、保護者の方が耳にする機会が多く、「無償化」への理解は高かったように感じる。詳細については、無償、実費徴収部分、新2号認定の説明をするが、新2号認定の理解はなかなか保護者にとって難しかったように感じる。新2号認定の理解、1号認定の共働き世帯への対応を今後の課題とする。</p>
16. 職員のメンタル	<p>職員の困り感に寄り添い、働きがいがある職場づくり</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●7月・8月の長期期間中にヒアリングを実施</li> <li>●学期ごとの親睦会</li> </ul>	B	<p>7月・8月にヒアリングし、就労状況、来年度の去就、困り感を職員と1対1で話す機会をもつ。就労状況や家庭環境等を聞くことで、来年度の勤務においても配慮することができた部分がある。次年度も実施し、少しでも働きがいがある職場づくりに取り組んでいきたい。</p>
17. 食育の推進	<p>食育活動を通して、食に興味・関心をもち、命の大切さ、食の大切さに気付いたり、食事のマナーを身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●年間食育計画の作成</li> <li>●栄養士による食育活動</li> <li>●幼児食のおしり作成</li> <li>●調理師、栄養士、保育者による食育会議(学期初)(アレルギー児、アレルギー食の対応)</li> </ul>	B	<p>食育活動を年間を通して、計画的に実施した。栄養士、調理師の先生たちと食育活動をすることで、食を作る人と食を通してつながりを持ち、食への関心が広まった。学期ごとに振り返り、アレルギー児の確認、ヒヤリハット事例の共有、アレルギー児の対応、各年齢による食事の量、食べやすさ等の意見交換を実施し、子どもの食への興味・関心を引き出すための工夫を職員間で試行錯誤し、実施した。次年度も引き続き、食育活動の推進をしていく。</p>
18. 働き方改革	<p>勤務時間、有給休暇、働きがいやりがいもてる職場環境をつくる</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土曜日の休日を24日(30年度)から28日(31年度)に増やす</li> <li>●有給休暇消化率を上げる(最低5日)</li> <li>●ICTを使い、出勤の打刻をする ●永年勤続者を表彰する</li> <li>●遅出の職員を1名にし、勤務時間の変更する</li> </ul>	B	<p>育児中の職員が多く、子どもの行事の時に有給休暇を積極的に利用されている。次年度は休憩時間の確保、職員の就労環境(家に持ち帰り仕事等)を確認し、改善点を探す。</p>
評価	理由		
B	<p>2019年度は遊びの質、保育者のねらいをもちながら、遊びの量と質を上げていく環境づくりを目指した。みんなでやる朝の会の機会を減らし、子どもたちが遊び込む時間の確保を行った。遊びが広がり、子どもたちから様々な遊びが生み出されていた。保育者の計画が優先される保育が行われ、子どもの姿が見えなかった場面もあった。次年度は職員間の共通理解(教育保育要領の理解)を深め、子どもたちの「やってみよう」という興味・関心から、遊びが広がっていくことを大切に保育していく。知識技能の基礎、表現力、判断力、思考力の基礎、学びに向かう力、人間性等を柱に置き、遊びを通して環境を通して保育実践していく。「表現」「環境」の領域においては、表現、環境への理解、「気づく、考える、深める」等、保育実践を通して理解していく。地域社会・保護者との連携、子育て支援、特別支援教育、教育環境整備(園庭)、園舎増築などを検討していたが、次年度も継続していく。</p>		

## 第4節 教育環境の充実

2019年度/令和元年度

### ① ホールを保育室に改修



### ② 預かり保育室を年少児の保育室に



### ③ 園庭に築山を設置





④防犯カメラを設置



⑤制服を新しくする



⑥遊戯室の腐食部を改修



⑦遊戯室のトイレの床を改修



# 目次 2020年度／令和2年度 和田幼稚園 事業計画

## 第1節 法人・幼稚園概要

## 第2節 2020年度／令和2年度 幼稚園運営指針

## 第3節 組織運営体制

## 第4節 全体的な計画

## 第5節 幼稚園行事(事業)の実施計画

健康管理事業計画

子育て支援事業計画

## 第6節 沿革

## 第1節 法人・幼稚園概要

設置者	学校法人 田名橋学園
学校名	認定こども園 和田幼稚園
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田 910-468
法人代表者	理事長 池田 敏明
学校長氏名	園長 田名橋 真敏
役員等	理事 6名、評議員 13名、監事 2名 理事会・評議員会
定員・実員学籍	定員 155名(1号 105名 2号 20名 3号 30名) 新入園児 3歳児 19名 4歳児 5名 5歳児 2名 1号 80名 2号 38名 3号 23名 計 141名(2020/5/1 現在)
職員構成	2020年度／令和2年度 園長 1名、事務長 1名、副園長兼主任保育士 1名、主幹教諭 1名 バス運転手 1名(産休 1名)  4・5歳児 保育教諭 4名、保育補助 2名  3歳児 保育教諭 2名、保育補助 1名、保育補助兼看護師 1名  1・2歳児 保育教諭 4名、保育補助 2名  超過保育 3名、食育 5名、栄養士 1名  計 32名
建学の精神	「あかるく たくましく かんがえる人間性豊かな子どもをめざす」 子どもたちの根っこ(心)と体を育て、豊かな心をもち人との関わりを大切にする 子、自分を信じ最後までやり遂げる子、気づき考え行動できる子を目標に、「生きる力」を養っていく。

## 第2節 2020年度／令和2年度 幼稚園運営指針

### ① 和田幼稚園経営の基盤

和田幼稚園(以下「本園」という。)は、教育基本法(平成18年法律第120号)、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号)及び子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)その他の関係法令を遵守して運営する。

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律及び子ども・子育て支援法の規定に従い、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を教育・保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

#### ○幼稚園教育の基本

- (1)本園は、安心・安定した情緒と落ち着いた環境の中で、自ら学ぼうとする意欲を育て、健やかで豊かな心と体が育つよう教育・保育を行うものとする。(幼児期にふさわしい生活の展開:安定した情緒の下で自己発揮できる)
- (2)本園は、幼児の自発的な活動としての遊びが心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心として総合的に達成されるものとする。(遊びを通しての総合的な指導)
- (3)本園は、教育・保育に関する専門性を有する職員が、家庭との密接な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、養護と教育を一体的に行うものとする。(一人一人の特性に応じた:個々の課題を見つけ、関わり方も変える)

### ② 田名橋学園の運営方針

#### (1)安全・安心な園づくり

子ども達が楽しく安心して園の生活ができるように日常の安全管理や避難訓練など防犯体制の充実を図り、安全で安心な園づくりを推進する。

#### (2)幼児教育の更なる充実

通常の教育のほかに、英語遊び、お茶遊び、運動遊びなどの補保育を導入して教育の更なる充実を図る。

#### (3)人間形成の基礎づくり

義務教育の基礎を培うと共に、挨拶や礼儀作法など基本的な生活習慣が身につくように指導し、人間形成の基礎づくりを推進する。

### ③ 教育理念「あかるく たくましく かんがえる創造性豊かな子を」

教育方針「あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな人格形成の基盤を養うことを主な方針とする」

○あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな子を目標とし、一人一人の関わりを大切にす

○自然を営む環境の中で、多様な経験をし、成長、発達を促す

○規則正しい生活習慣を身につけ自発的に行動できるように助長する

### 第3節 組織運営体制

2020年度においても、「園務分掌」に基づき、業務を分掌し、合理的で機能的な幼稚園運営を図る。

#### ①職員の働き方

- ・ICT化による情報の一元管理と職員間の情報共有(バスキャッチ導入)
- ・職員の出退勤をPCから打刻(休憩時間、実働時間)
- ・有給休暇消化率向上
- ・ワークライフバランスを保てるように労働時間を減らす
- ・時間外労働を減らす

#### ②保育の質の向上

- ・主任保育士・主幹教諭を配置。副主任リーダー、専門リーダー、職務別リーダー。
- ・ヒヤリハット委員会、ハラスメント委員会、教育保育要領研究会を置く
- ・週日案の見直し(計画⇒実践⇒評価⇒振り返り)
- ・保育実践(職務別リーダー)を通して、こども理解の促進と要領の理解、日々の保育の見直しを行う
- ・保護者からの連絡一括管理(出欠連絡・連絡帳等)
- ・職員間の情報共有
- ・園内研修・園外研修の充実(ミドルリーダーの活躍に期待)

#### ③ 保護者支援・子育て支援

- ・保育園児(1歳3ヶ月(2019年度)から1歳(2020年度))受け入れの年齢変更
- ・子育て支援(年間2回)(7月18日・9月26日(実施予定))
- ・クラス便りの充実(子どもの様子や育ちを保護者にドキュメンテーションしていく)各クラスの様子がより保護者の方に伝わるようにする

### 第4節 全体的な計画

教育・保育方針	「あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな人格形成の基盤を養うことを主な方針とする」 ○あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな子を目標とし、一人一人の関わりを大切にする ○自然を営む環境の中で、多様な経験をし、成長、発達を促す ○規則正しい生活習慣を身につけ自発的に行動できるように助長する
教育・保育目標	子どもたちの根っこ(豊かな感性や健康な身体)を育て、「生きる力」(心の芽、自信の芽、学びの芽)を養う。 あかるく:人との関わりを大切にする子(社会性・人間力を育てる)(心の芽の育成) たくましく:自分を信じ、最後までやり抜く子(自信を育てる)(自信の芽の育成) かんがえる:進んで学び考える子(主体性・自主性を育てる)(学びの芽の育成)
●1号認定:基本保育時間→9:00~14:30 *預り保育 7:30~8:30 14:30~17:30	
●2・3号認定:基本保育時間→7:00(8:30)~18:00(16:30)	

<b>主な行事</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入園式 ●園外保育 ●こいのぼり集会 ●時の記念日集会 ●誕生会 ●健康診断 ●保育参観 ●水あそび ●運動会 ●作品展 ●生活発表会 ●餅つき ●節分 ●個人面談 ●ひな祭り ●卒園式</li> </ul>	
<b>教育・保育要領上の教育及び保育の基本及び目標</b>	<b>保育5領域との整合性</b>	<b>地域の実態に対応した保育事業と行事への参加(社会貢献)</b>
<p>教育・保育の基本については要領の4つの事項を重視する。目標は生活を通して、生きる力を育成するように認定こども園法第9条に規定する教育及び保育の目標の達成に努める。</p>	<p>教育・保育要領の第2章のねらい及び内容並びに配慮事項を鑑み、各領域が示す目的に沿って教育及び保育がなされるようにする。その際総則を前提とした配慮を行う。</p>	<p>消防出初式・敬老会等の地域の行事に参加する。地域の人に昔遊びを教えたいいただいたり、地域の人に関わりながら、子どもや保護者と地域をつないでいく</p>
<b>家庭との連携</b>	<b>小学校への接続・連携(年長児)</b>	
<p>園児の生活全体を豊かにするために家庭との連携を密に図る。園児の記録等による状況把握、入園のしおり・HP等による園の情報提供にて情報を共有する。また、教育及び保育の全体計画やおたより、保育ドキュメンテーションによる保育の説明を丁寧に行う。</p>	<p>アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの推進を図る。また、小学校教育への円滑な接続に向けて園児と児童の交流、こども園職員と教師の意見交換や合同研究の機会を図る。</p>	
<b>特に配慮すべき事項</b>		
<b>健康支援</b>	<b>環境、衛生・安全管理</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握</li> <li>●年2回の嘱託医による健康診断(内科)</li> <li>●年1回の嘱託医による歯科検診</li> <li>●登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応</li> <li>●年間保健指導計画</li> <li>●月一回園便りにて保健衛生について保護者に配布</li> <li>●年1回職員健康診断及び毎月の検便(保育教諭・栄養士・調理員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●危機管理マニュアルの整備 ●園内研修による危機管理マニュアルの啓発</li> <li>●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒、安全管理及び自主点検</li> <li>●子ども及び職員の清潔保持</li> <li>●感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有(連絡アプリにて感染症の状況を保護者が確認できる)</li> <li>●インフルエンザへの対応 ●新型コロナウイルスへの対応</li> <li>●定期的に避難訓練を実施(火災、地震、不審者対応)の実施</li> <li>●消火訓練の実施 ●学校安全年間計画</li> <li>●警察署の指導による安全教室の実施*年1回外部業者による消防設備点検</li> <li>●AED 研修、エピペン研修実施</li> </ul>	
<b>食育の推進</b>	<b>子育ての支援</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●食育計画の作成(栄養士、調理師、保育者)</li> <li>●栄養バランスを考えた自園給食の提供</li> <li>●全園児へ炊きたて米飯の提供</li> <li>●行事食の提供</li> <li>●菜園づくりの実施</li> <li>●クッキング(食育)の実施</li> <li>●お弁当の日(保育園児)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メソッドや入園のしおり・パンフレットの配布</li> <li>●地域子育て支援的活動(育児相談等)</li> <li>●幼稚園(こども園)紹介事業</li> <li>●実習生及び中学生保育体験の受入れ</li> <li>●危機管理体制の揭示</li> <li>●その他緊急を要する情報の通知</li> <li>●子育て支援研修・ワークショップ</li> <li>●保護者との連携協力</li> </ul>	



前年度の姿 (園児)	保育者との信頼関係も築いていながら、自分から人・モノ・ことに関わろうとする姿が見られる。 (人との関わり)人やモノ、ことに関わり、生活の中でも自分で気づき、考えて、行動する力を付けていっていることが分かる(考える力)のびのびと動きまわり戸外でも体を動かすことが好きな園児が多い。ルールのあるゲームでも最後まで諦めず友だちと協力してゴールに向かって頑張っている(自信)深める関わりが必要になってくる										
前年度の姿 (保育者)	全体の朝の会の時間を削減することによって、遊びの時間、子どもと関わるゆったりとした時間が増えたことにより、心に余裕を持ちながら保育を進めていくことができている。子どもたちが興味・関心をもつように、視覚的な掲示を増やしたり、アイデアや工夫が見られる。子どもたちの気づきや発見が多くあり、保育者も共に気づきや発見を面白がり、興味が広がるように援助している。その一方、一人一人の子どもの様子を見ることと学級づくりをしていくバランスが難しいと感じる。子どもの気持ちを受けとめて、切り返す。子どもたちに考えさせたり、気付かせるように環境をつくっていかないといけない。「保育者主体」→「子ども主体」について考える必要がある。今年度は前年度より子ども理解や保育実践が増えることを期待している。「大きな声」や「子どもの成長を阻害する先回りする声」はいらぬ。										
本年度の重点目標	教育・保育要領の改訂を踏まえ、一人一人の幼児を大切に質の高い教育の実践を目指す 子どもたちが自分で考え、工夫し、学んでいく環境づくり(人的環境、保育環境)(時間、空間、人間) ・保育の質の向上(教育課程の見直し、教育保育要領の理解) ・組織運営 ・教育環境整備										
経営の重点	人材育成(自ら考え、主体的に行動する力の育成) 働きがいのある職場づくり(カリキュラムマネジメントによるPDCA、主任・副主任によるリーダーシップ) 保護者との連携により、保護者が子ども理解、幼稚園への理解を深めていく										
教育の重点	保育の質の向上(指導力、子ども理解の向上、マネジメント力、リーダーシップ力)職員間の振り返り 新幼稚園教育要領、新保育所保育指針の教育内容を捉え、カリキュラムに反映していく ・特別支援教育(関係機関との関係構築)・遊びを深める、広げていく「遊びの質と広がり」・主体性「子どもたちの力を信じよう」、考動力、協同性「受け身の子どもを作らない」										
子どもの教育及び保育目標 (学年の重点事項)	<table border="1"> <tr> <td>1歳児</td> <td>安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える</td> </tr> <tr> <td>2歳児</td> <td>行動範囲が広がり探索活動が盛んになる</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>身近な仲間や自然等の環境と積極的にかかわり、意欲を持って活動する</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる</td> </tr> </table>	1歳児	安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える	2歳児	行動範囲が広がり探索活動が盛んになる	3歳児	身近な仲間や自然等の環境と積極的にかかわり、意欲を持って活動する	4歳児	信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする	5歳児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる
1歳児	安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える										
2歳児	行動範囲が広がり探索活動が盛んになる										
3歳児	身近な仲間や自然等の環境と積極的にかかわり、意欲を持って活動する										
4歳児	信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする										
5歳児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる										

養護 (保育教諭が行う事項)	年齢	3歳児	4歳児	5歳児
	生命の保持	●健康的生活習慣の形成	●運動と休息のバランスと調和を図る	●健康・安全への意識の向上
	情緒の安定	●主体性の育成 ●自立心の育成	●自己肯定感の確立と他者の受容	●心身の調和と安定により自信を持つ
ねらい及び内容 (満3歳以上は、教育課程に係る1日4時間年39週を)	領域	教育及び保育(教育課程に係る教育時間含む)		
	健康	●意欲的な活動 ●基本的生活習慣の確立	●健康への関心 ●体全体の協応運動	●健康増進とさらなる挑戦への意欲
	人間関係	●自立心の育成と平行遊びの充実	●仲間との深いつながり	●社会性の確立と道徳性の芽生え
	環境	●身近な環境への積極的な関わり	●社会事象への関心の高まり	●社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ

下らない学校教育+その他の教育及び保育)	言葉	●言葉の美しさ、楽しさへの気付き ●生活の中での必要な言葉の理解と使用	●伝える力・聞く力の獲得	●文字や数字の獲得による遊びの発展
	表現	●自由な表現と豊かな感性の育ち	●豊かな感性による表現	●ダイナミックな表現 ●感動の共有

幼保連携型認定こども園教育・保育要領(①心情②意欲③態度を意味する)	健康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。
	人間関係	園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
	環境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
	言葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。
	表現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

教育及び保育の基本と目標	(1)活動体験を十分に積み重ねる (2)養護による自己発揮を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開 (3)遊びを通じた指導を中心として5領域のねらいを達成 (4)園児一人一人の発達の課題に即した指導→保育教諭の計画的な環境構成 目標:認定こども園法第9条の目標達成に努める
特色ある教育と保育	●園児一人一人の関わりを大切にし、生活する力と自信と生き抜く力を育む ●遊びを通して行う教育・保育、環境を通して行う教育・保育 ●多様な体験を育む補保育(習字・体育・英語・茶道・算盤、創作ダンス)
研修計画	●教育・保育要領対応の園外・園内研修(キャリアアップ研修を含む) ●年間研修計画(主任・副主任による) ●外部講師による園内研修
自己評価	●(全体の反省による計画・教育課程への反映) ●保育教諭等の評価(自己評価と子どもの評価の確立) ●自己チェックリストの実施 (●第三者評価の理解)

## 第5節 幼稚園行事(事業)の大要実施計画

04/01	幼稚園保育園入園式	07/13	防犯教室	01/04	特別預かり保育(~6日)
04/02	特別預かり保育(~7日)	07/18	年長児お楽しみ会	01/07	3学期始業式
04/08	幼稚園始業式	07/22	1学期終業式	01/10	出初式(年長)
04/09	幼稚園通常保育開始	07/27	特別預かり保育(~7/31)	01/26	年長児園外保育
04/18	親子遠足	08/01	誕生会	02/01	縄跳び月間
04/24	防災集会	08/04	すいか割り	02/03	節分集会
05/01	こいのぼり集会	08/08	個人面談	02/13	誕生会
05/15	内科検診	08/17	特別預かり保育(~30日)		新入園児説明会
05/23	誕生会		ユニクロサッカー(年長)	02/18	保育参観(蓄・春)
05/24	評議会・理事会	08/31	2学期始業式		保育参観(夏・秋・冬)
05/25	健康集会	09/12	誕生会	02/25	交通安全集会
05/29	園外保育(年長)	10/10	運動会	03/04	年長思い出遠足
06/04	歯科検診	10/24	誕生会	03/06	誕生会
06/09	さつまいも植え	10/29	さつまいも収穫	03/09	冬組お別れ会(保護者)
06/10	時の記念日集会	11/07	誕生会	03/20	卒園式
06/18	保育参観(蓄・春)	11/14	作品展	03/23	体験入園
	保育参観(夏・秋・冬)	11/25	内科検診	03/24	3学期終業式
06/29	水遊び開始	12/05	誕生会	03/25	特別預かり保育(~31日)
07/06	そうめん流し	12/19	発表会	03/27	辞令交付・職員研修
07/07	七夕集会	12/22	餅つき		
07/11	誕生会	12/25	2学期終業式		
4・5月の行事については、新型コロナウイルスの拡大防止のため中止・延期。 筆あそび(年長) 運動あそび(年中・年長) 創作ダンス(年少・年中・年長) 英語あそび(年少・年中・年長) そろばんあそび(年中・年長) (お話し会 年間3回)					
毎月1回 園内研修(職員参加) 食育会議(学期毎)					
保護者アンケート実施(3月)					

### ●学事予定

1号81名 2号38名 3号23名 計142名(2020/5/1現在)

篠栗町在籍 130名

粕屋町在籍 5名

久山町在籍 4名

須恵町在籍 1名

その他在籍(福津市1名)

通園バス利用園児 19名

2020年度 就学予定		
市町村	就学小学校	
篠栗町	北勢門小学校	20名
	勢門小学校	8名
	篠栗小学校	8名
久山町	久原小学校	2名
粕屋町	仲原小学校	1名
福津市	神興東小学校	1名
		40名

## ●健康管理事業(園児・職員)

2020 年度中に下記の健康管理事業を実施予定。

- ①年間を通じて定期的に身長、体重の測定。
- ②学校保健法により健康診断を実施。内科検診(年間 2 回)、歯科検診(年間 1 回)実施予定。
- ③予防接種歴・罹患歴調査票で園児の情報を保護者と共有
- ④年 1 回職員健康診断及び毎月の検便(保育教諭・栄養士・調理員・養護)

## ●子育て支援事業

### ① 預かり保育(1 号)

17 時 30 分まで園児を預り異年齢児による活動を実施する。また、4 月 2 日～7 日の春季長期休暇中の特別預かり保育を実施。7 月及び 8 月夏季長期休暇中(夏休み)に 15 日、冬季長期休暇中(冬休み)に 3 日間、春季長期休暇中(春休み)に 9 日間、8 時から 17 時 30 分まで預かり保育を実施する。(金額 1500 円/日から 1000 円/日に変更)

### 預かり保育(2・3 号)

18 時から 18 時 30 分(延長保育)を 2020 年度からはじめる。(30 分で 500 円)

### ②課外授業

課外教室を展開し「子育て支援」として位置付ける。幼稚園生活と課外教室の連携を図る。

ピアノ教室(月、木)・バレエ教室(火)・そろばん教室(水)・体操教室(金)を実施する。

### ③子育て支援(年間 2 回)(7 月 18 日・9 月 26 日(実施予定))

## 第 6 節 和田幼稚園の沿革

1984年度 (昭和 59 年)	和田幼児園開設 園長田名橋勝創設
2006年度 (平成 17 年)	学校法人田名橋学園和田幼稚園開園 園長 池田寿美子 就任
2014年度 (平成 25 年)	長期休暇中特別預かり保育開始
2013年度 (平成 26 年)	ホームページ開設 和田幼稚園園舎を新築
2015年度 (平成 27 年)	認定こども園和田幼稚園開園 和田幼稚園 10 周年記念式典 和田幼児園 30 周年記念式典 預かり保育時間の変更(7 時 30 分-18 時→7 時 30 分-17 時 30 分)
2016年度 (平成 28 年)	
2017年度 (平成 29 年)	園長 田名橋真敏 就任 保育園棟を改修 学籍園児数 146 名
2018年度 (平成 30 年度)	新教育要領・保育要領に伴う、和田幼稚園の運営規定一部変更 預り保育環境の見直し(保育園・幼稚園を分ける) ICT化による業務効率化(バスキャッチ導入) 職員の勤務時間の見える化(シフト表作成) 通園バス(園児 39 名乗車)を購入 登園・降園時間の変更(9 時 10 分→9 時、15 時 30 分→15 時 20 分) 新入園児の入園検定料(1000 円)廃止 保護者会費を校納金に変更
2019年度 (令和元年度)	幼稚園の働き方改革 就業規則の見直し(職員の就業時間実績確認、有給休暇消化率確認) 人材育成制度構築(評価制度) 食育事業の推進(栄養士による食育体験) 保育環境見直し(幼稚園ホールを保育室に改修)4・5 歳児/1・2・3 歳児で園舎を分ける
2020年度 令和 2 年度	預かり保育事業 18 時～18 時 30 分 保育園児(1 歳 3 ヶ月(2019 年度)から 1 歳(2020 年度))受け入れの年齢変更 子育て支援(年間 2 回)(7 月 18 日・9 月 26 日(実施予定))

